

新潟大学教育研究院自然科学系教員公募要項

1. 所属 新潟大学教育研究院自然科学系 情報電子工学系列
2. 担当学部・研究科 工学部 工学科 知能情報システムプログラム
創生学部
大学院自然科学研究科 電気情報工学専攻 情報社会デザイン科学コース
3. 担当予定科目 大学院：知能情報マシン特論等
学 部：プログラミング基礎 I, II(分担), 知能情報システム実験 I, II, III, IV(分担),
DX スタディーズ (創生学部) 等
4. 担当分野 ロボティクス及び知能機械システム関連, 情報リテラシー教育
5. 職種・人員 教授 1名
6. 採用予定日・任期 令和7年7月1日以降のなるべく早い時期
7. 任期 なし
8. 給与 国立大学法人新潟大学新年俸制教員給与規程による
9. 職務内容・条件 主として, 工学部の知能情報システムプログラム及び大学院の情報社会デザイン科学コースを担当する。更に, 創生学部の協力教員として同学部の DX 共創コースの一部を担当する。全体的に情報科学, 情報工学に関する教育担当であるが, 創生学部では文系学生, 理系学生双方に対する情報リテラシーの学修指導教育も行うため, 多様な学習者に対する学修指導教育を行う能力を有することが求められる。研究面では, サイバー空間と現実の物理空間を接続する, ロボティクス技術やシステム制御技術に関する研究を行えることが求められる。そのため, 当該研究分野に関連したプロジェクトにおいて主体的に研究を推進し, 外部資金獲得に積極的であることが条件となる。地域連携, 国際貢献への意欲的な取り組みが必要とされ, これまで企業だけでなく自治体などとも連携した実績があることが望ましい。また, 工学部, 創生学部, 及び情報社会デザイン科学コースにおいて, 学内の運営に積極的に取り組むことが求められる。
10. 応募資格 (1) 博士の学位を有すること。
(2) ロボティクスおよび知能機械システム, 制御およびシステム工学, 計測工学, 数理情報学, 知能ロボティクスの分野に関する教育及び研究業績があること。
11. 応募書類 (各1部) (1) 履歴書 (書式は任意, 大学入学以降の学歴, 学位, 職歴, 学会活動, 資格, 受賞歴, 連絡先などを記入のうえ, 写真貼付のこと。)
※履歴書の「賞罰」の欄には, 受賞, 刑事罰のみでなく, 学生に対するセクハラ・性暴力等を原因とする過去の懲戒処分歴や, 該当する場合はその原因となった具体的な事由について記入のこと。「賞罰」の欄が無い場合は, 備考等に賞罰の有無とその事由を記載のこと。万が一, 経歴に虚偽の申告があった場合は, 採用取消や懲戒処分となる場合がある。
(2) 著書, 学位論文, 査読付き学術論文 (SCI 論文であればその旨を明記), 総説, その他論文 (査読なしの学術論文, 国際学会発表など) 及び特許 (出願中のものも含む) に区分された年代順に番号が付されたリスト。なお, 論文名, 著者名, 雑誌名, 巻号, 最初と最後の頁, 発表年 (西暦) について記載すること。
(3) 主要論文 5 編の別刷またはコピー。
(4) これまでの研究概要及び採用された場合の教育・研究の抱負について, それぞれ 2,000 字程度にまとめたもの。教育実績がある場合には, これまでに指導した大学院博士前期 (修士)・後期 (博士) 課程の学生について, 学位取得年月及び修士・博士論文題名を記したリスト (申請者本人が実質的な指導をした場合に限る)。
(5) 科研費を含む外部資金獲得状況 (研究課題名, 代表・分担の別, 金額, 研究期間)。
(6) 応募者について照会可能な 2 名の方の氏名, 所属及び連絡先。
(備考) 応募書類は返却しません。応募に関する秘密は厳守します。また, 本公募手続きにより本学が取得した応募者の個人情報, 「個人情報の保護に関する法律」に基づいて適正に管理します。
12. 応募の締切 令和7年3月10日 (月) 必着
13. 選考方法 応募書類による選考を行い, 最終選考で面接を行います。旅費等は支給しません。
14. 提出書類の送付及び問合せ先 (1) 送付先
〒950-2181 新潟市西区五十嵐 2 の町 8050 番地
新潟大学自然科学系総務課学系庶務係
(封筒の表に「情報電子工学系列 情報社会デザイン科学コース教授応募書類在中」)

と朱書きし、簡易書留郵便で送付のこと)

(2) 問い合わせ先

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町 8050 番地

新潟大学工学部工学科

教授 山崎 達也

電話：025-262-7499 E-mail：yamazaki.tatsuya@ie.niigata-u.ac.jp

- ※活動内容については、新潟大学大学院自然科学研究科 (<https://www.gs.niigata-u.ac.jp/~gsweb/index.html>)、新潟大学工学部 (<https://www.eng.niigata-u.ac.jp/>)、及び新潟大学創生学部 (<https://create.niigata-u.ac.jp/>) のホームページを参照のこと。
- ※新潟大学では、ダイバーシティ推進センター (<https://diversity.nu.niigata-u.ac.jp/>) を設置して、男女共同参画を推進しています。
- ※新潟大学では、キャンパス・グローバリゼーションの実現に向けて、グローバル対応力の高い教員の採用を推進しています。教員公募においても、多様な言語を母語とする学生・研究者との日本語・英語を使ったコミュニケーション能力のある方の応募を歓迎します。